

# 米イラン和平合意

## 戦闘終結覚書、19日署名

【ワシントン、イスタンブール共同】トランプ米大統領は14日、イランとの戦闘終結に向けた覚書が「成立した」と交流サイト(SNS)で発表した。イランのガリババディ外務次官も15日、国营テレビで覚書を最終決定したと発表。米イラン双方が合意に達したと発表した。パキスタン政府によると19日にスイスで署名式を開く。封鎖状態となってきたエネルギー輸送の要衝ホルムズ海峡の開放や、混乱が続いてきた中東情勢の緊張緩和へ大きく前進した。

騰や海上輸送の停滞など日本を含めた世界経済に影響が広がった。偶発的な衝突が再発しないかどうかも焦点となる。

今後はイラン核問題を巡る最終的な合意を目指して交渉を本格化させる見通しだが、双方の立場にはなお溝があり、協議は紆余曲折をたどる可能性もある。一連の戦闘では、油価高

米イラン関係 1979年2月のイラン革命で親米独裁王制が倒れて以来の敵対関係。79年11月に首都テヘランで米大使館人質事件が起きた。米国は80年に断交し、84年にテロ支援国家に指定。2002年にイランの核兵器開発疑惑が発覚した。オバマ政権下の15年に核合意が成立したが、第1次トランプ政権が18年に合意から一方的に離脱し制裁を再発動。第2次政権下の25年6月、米軍がイラン核施設を空爆した。26年2月28日、米イスラエルがイランを先制攻撃し、イランはペルシャ湾岸の米軍拠点などに報復攻撃を開始。パキスタンが4月8日に米イランの停戦合意を発表した。(共同)



オマーン沖のホルムズ海峡で停泊する船=11日(ロイター=共同)



**ホルムズ海峡** 中東のペルシャ湾とアラビア海を結ぶ海峡。周辺にはイランやアラブ首長国連邦(UAE)、サウジアラビアなどの産油国が位置する。最も狭い地点の幅は約30キロ。米イスラエルによる攻撃を受けイランは海峡を事実上封鎖した。その後、一部のタンカーなどがイラン側の許可を得て通過し始めたが、攻撃前と比べ通過する船舶の数は激減した。(共同)